



はじめまして

熊本市 韓国国際交流員 申 恵智 (シン・ヘジ) さん

はじめまして。今年の4月から熊本市役所で韓国国際交流員として働くことになった申恵智(シン・ヘジ)と申します。今年の2月に大学を卒業したばかりのピチピチ新卒です(笑)。社会人としての第一歩を熊本市で踏み出すことができ、とても嬉しく思っています。

日本に興味を持ったのは中学時代に「犬夜叉」というアニメを通じてでした。アニメを見るうちにキャラクターたちが喋っている日本語に興味を持つようになり、「私も日本語で喋ってみたい」という願望が湧いて来ました。それをきっかけに、日本語を独学するようになり、日本についてさらに勉強したかったので大学でも日本語・日本文学を専攻しました。

2008年の10月から1年間、幸いにも交換留学生として、札幌にある北海道大学で勉強する機会を得ることができました。その時、一番楽しかったのは北海道旅行でした。帯広をはじめ、小樽、富良野・美瑛、積丹半島、函館など、さまざまな所を旅行しました。日本は地域色が強いと聞いていましたが、旅行しながら「まさにそうだな!」と感心しました。そこで、もっと色々な日本を楽しみたいという願望、国際交流をしながら自分の視野を広げ、また、日本の方々にも韓国のことを知っていただきたいという願望、今回は学生ではなく社会人として活躍していきたいという願望を叶えるため、国際交流員として働くことになりました。

私の出身地は大邱(テグ)というところです。大邱の人口は約250万人で、韓国の主要7大都市の中でソウル、釜山(プサン)、仁川(インチョン)に続く4番目の大都市で面積は3番目です。位置は釜山のすぐ北で、釜山から列車で1時間程度かかるところにあります。大邱の特産品としてはりんごが有名です。また、繊維も有名なのでファッションの街とも言われています。それゆえ、昔から大邱には美人が多いと言われています。しかし、

私のような例外もあります(笑)。そして、今年の8月27日から9日間、大邱スタジアムで世界陸上競技選手権大会が開催されます。それに合わせて地下鉄路線を延長したり、道の舗装も行われているので、ますます住みやすい都市になっています。

熊本市で国際交流員としてしたいことは大きく3つあります。

一つ目は、多くの日本の方々に韓国を知っていただくため、韓国のPRに力を入れることです。韓国に旅行に行かれる日本人の方は多いです。しかし、行き先が主にソウルか釜山だったり、ショッピング目当てという方も少なくないと思います。ソウルも釜山も良いところなのですが、それだけではないということを伝えていきたいです。例えば、昔の集落が今日までそのまま残っている安東(アンドン)の河回村(ハフェマウル)や、歴史的な街となっている扶餘(フヨ)・公州(コンジュ)など、日本の方には知られてない良いところも多くありますので、そのような情報を伝えたいです。

二つ目は、熊本通になり韓国の人々に熊本の良さを伝えることです。日本に興味がある多くの韓国人には、熊本といえば熊本城や馬刺しのイメージを思い浮かべます。しかし、それだけではなく、地下水や熊本ラーメンなど、もっと色々なことを伝えていきたいと思います。

最後は、日本だからこそ学べる習い事をするということです。日本の茶道や三味線など、日本ではないと学べる機会がないと思います。せっかく日本に来たので、日本ならではの何かを学びたいと思っています。何か良い情報がありましたら、私にも教えてください。

長い文になりましたが、これから熊本で頑張っていきたいと思いますので、温かく見守っていただけると嬉しいです。これからどうぞよろしくお願いいたします。



韓国-慶州



韓国-慶州



日本-神威岬